

法政大学大原社会問題研究所

# 所 報

(2017.3.1 ~ 3.31)

## □研究員人事 (3月31日付)

退職 兼任研究員 深谷 直弘  
研究補助員 平尾 直樹

## □刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』702号 (2017年4月)  
『持続可能な地域における社会政策策定にむけての事例研究 Vol.6—倉敷市の産業発展過程, 公害訴訟和解, 地域包括ケア調査報告』(ワーキングペーパー No.55)  
『法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ・ニュースレター』第2号 (2017年3月)

## □図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	461	3	464
受 贈	0	3	3
合 計	461	6	467

## □閲覧サービス

### 閲覧

開館日数 22日  
閲覧者数 26名  
貸出図書 13冊

### コピーサービス

学外 15件 2,285枚  
学内 2件 225枚

## 日 誌

- 1日 拡大事務会議・事務会議  
『日本労働年鑑』編集会議
- 3日 法政大学ミュージアム検討委員会 (榎)
- 4日 月例研究会  
永田瞬 (客員研究員, 高崎経済大学准教授)  
「外国人技能実習生の基幹労働力化とその合意」  
(司会: 相田利雄)
- 6日 集中資料調査 (~22日)
- 8日 資料事務会議

『日本労働年鑑』編集会議

- 15日 資料事務会議  
運営委員会  
議題① 16年度自己点検・評価シート年度末報告について  
② 兼任講師・各種委員の委嘱について  
③ RAの承認について  
④ その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

『日本労働年鑑』編集会議

来所: 木下順・國學院大学教授

- 17日 大原社会政策研究会 (第32回)  
岩永理恵 (日本女子大学人間社会学部准教授)  
「地方自治体における生活保護・社会福祉行政の歴史研究」
- 21日 環境アーカイブズ定例会議
- 22日 『日本労働年鑑』編集会議  
研究員会議
- 24日 社会問題史研究会 (2017年度叢書研究会, 於: 市ヶ谷)
- 25日 環境・労働問題研究会 (第10回)  
佐藤圭一 (日本学術振興会特別研究員 (PD) / 東北大学大学院文学研究科社会学教室, ドイツ・コンスタンツ大学客員研究員) 「3.11後の市民活動・社会運動について—原発・エネルギー問題に関する市民団体調査をもとに」(コメンテーター: 平林祐子・都留文科大学教授)
- 29日 資料事務会議

大原社会問題研究所雑誌

No.705 (2017年7月号)

2017年7月1日発行  
定価1,000円 (本体926円), 年間購読料12,000円  
編集 (兼) 発行人 法政大学大原社会問題研究所  
編集長 藤原千沙  
所 長 鈴木 玲  
〒194-0298 東京都町田市相原町4342  
電話 042 (783) 2305

# 投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介（調査報告）」を募集しております。下記の投稿規定と執筆要領に基づいてご投稿ください。 [2015.11.25 改定]

## 投稿規定

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則として 20,000 字以内（図表・スペースを含む）とします。大幅に分量を超える原稿は審査の対象としません。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3 部、②1,000 字以内の要旨 3 部、③表題紙 2 部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所  
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

## 投稿原稿 執筆要領

1. A4 版の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワープロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、可能なかぎり、掲載を希望する大きさに、そのまま白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表1 入れる】等と手書きで指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさに全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、図書の場合、著者名・発行年・書名・出版社名の順に記述する。雑誌論文の場合、著者名・発行年・論文名・雑誌名・巻号・ページ数の順に記述する。ただし、他の記載方法も可とする。

### 【記載例】

榎一江（2014）「日本製糸業における労務管理の生成とジェンダー」榎一江・小野塚知二編『労務管理の生成と終焉』日本経済評論社。

原伸子（2012）「福祉国家の変容と子どもの貧困——労働のフレキシビリティとケア」『大原社会問題研究所雑誌』649 号、30-46 頁。

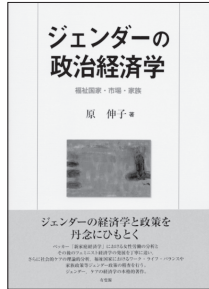
Suzuki, Akira (2012) "The Limits and Possibilities of Social Movement Unionism in Japan in the Context of Industrial Relations Institutions," in Akira Suzuki (ed.) *Cross-National Comparisons of Social Movement Unionism: Diversities of Labour Movement Revitalization in Japan, Korea and the United States*. Bern: Peter Lang.



# ジェンダーの政治経済学

原 伸子著 ●福祉国家・市場・家族  
ベッカー「新家庭経済学」における女性  
労働の分析とその後のフェミニスト経済  
学の発展を丹念に追ひ、さらに社会的ケ  
アの理論的分析、福祉国家におけるワー  
ク・ライフ・バランスや家族政策等ジェ  
ンダー政策の精査を行う。

A5判 三九〇〇円



## はじめてのジェンダー論

(有斐閣ストゥディオ)  
一八〇〇円

加藤秀一著 なぜ人は男か女かという性別にこだわるのか。ジェンダー  
論の基礎から最新動向まで、軽妙な講義調で解き明かす、著者待望の書。

## 社会学の力

A5判  
予価二五〇〇円

友枝敏雄・浜 日出夫・山田真茂留編 ●最重要概念・命題集  
社会学固  
有の概念、方法、命題の中で最も重要な70項目を厳選して解説。

## 合理的配慮

A5判  
二七〇〇円

川島 聡・飯野由里子・西倉美季・星加良司著 ●対話を開く対話が拓く  
障害者基本法、障害者差別解消法、障害者雇用促進法によって法制化さ  
れた障害者に対する「合理的配慮」。法学・社会学・ジェンダー研究の  
視点で、「共生の技法」となりうるこの新しい概念を追究する。

## 援助関係論入門

(有斐閣アルス)  
一九〇〇円

稲沢公一著 ●「人と人との」関係性 ソーシャルワーカーや看護師、介  
護士など、人を助ける職業をめざすすべての人に読んでもらいたい一冊  
「対人援助」にまつわる基礎理論をやさしく解説する入門テキスト。

## 殻を突き破るキャリアデザイン

四六判  
一七〇〇円

筒井美紀著 ●就活・将来の思い込みを解いて自由に生きる

## 派遣労働という働き方

A5判  
四三〇〇円

島貫智行著 ●市場と組織の間隙 質的調査で当事者視点に迫る。

法政大学大原社会問題研究所叢書

# 環境政策史

西澤栄一郎 編著  
喜多川 進



—なぜいま歴史から問うのか—  
環境政策を歴史から捉えるとはどういうことか。環境政策史の理論的  
検討と、異なる時期や地域を対象としたケース・スタディを展開し、  
多様な環境政策史研究の方向性を示す。  
5000円

## 原発災害はなぜ不均等な 復興をもたらすのか

「福島事故から  
人間の復興」、地域再生へ  
除本理史／渡辺淑彦編著 原発災害からの生活再建と復興に向けて、  
何をすべきか。研究者・実務家の学際的な共同研究により、「不均等な  
復興」をキーワードに、その政策的課題を多角的に検討。2800円

## アスベスト公害の技術論

公害・環境規制の  
あり方を問う

田口直樹編著 泉南アスベスト国賠訴訟弁護団の依頼により、裁判資  
料として調査・分析を行った研究成果。日本・欧米における規制事例  
を比較検証し、いのちと健康を守る経済発展を展望する。5500円

## ごみと日本人

衛生・勤儉・リサイクルからみる近代史  
衛生・勤儉・リサイクルからみる近代史

稲村光郎著 ごみにまつわる詳細なデータと象徴的なエピソードで、  
幕末から敗戦に至る日本の歩みを描き出す。2200円

## 福祉の哲学とは何か

ポスト成長時代の  
幸福・価値・社会構想

広井良典編著 宗教学、科学思想等を援用しつつ、人類史上三度目の  
「定常期」に入った現代社会の指針となる「福祉の哲学」とはどのよう  
なものかを、ローカルなコミュニティを基点として考察。3000円